



蜷川実花・蜷川宏子 二人展

写真とパッチワーク・キルト、母と娘のコラボレーション



2011年8月6日[土]—8月21日[日]

時間◎午前10時～午後6時(金・土は午後8時まで/会期中無休/入場は閉場時間の30分前まで)

入場料◎一般 800円、大学・高校生 600円、中学生以下 500円(前売各200円引、15名以上の団体各300円引、未就学児童は無料)

主催◎しいのき迎賓館/共催◎ケイ・シー・エス/後援◎北國新聞社、北陸放送、テレビ金沢、エフエム石川、ラジオかなざわ、ラジオこまつ、ラジオななほ、金沢ケーブルテレビネット/企画制作◎ラッキースター、ラップネット お問合せ先◎ケイ・シー・エス TEL.076-224-4141 <http://www.kcs-inc.jp>

石川県政記念

しいのき迎賓館

Shiinoki Cultural Complex, Ishikawa Prefecture

会場◎ギャラリーA・B 石川県金沢市広坂2-1-1

<http://www.shiinoki-geihinkan.jp/>

Mika & Hiroko NINAGAWA



鮮やか、華やか、蜷川ワールド。
母から娘に受け継がれた、
濃厚で独特な色彩感覚。

艶やかな満開の花々、まばゆいばかりの極彩色、ため息が出るような美しさ、絢爛豪華な世界観。蜷川実花の作品を表現する言葉たちは、どれもが華やかで生命力に満ち溢れています。このビビッドな色彩感覚は、見事なまでに母親・蜷川宏子から受け継がれたDNAであることを二人の作品から発見するでしょう。蜷川実花は、日本を代表する写真家として広告、ファッション、書籍や展覧会などで精力的に活躍しています。また、パッチワーク・キルト作家・蜷川宏子は、国際的に活躍する演出家・蜷川幸雄の妻として、ふたりの娘の母親として、日々の生活の中から次々と作品を生み出しており、現在は、人気キルト作家として注目されています。幸せな気持ちと、ひと針、ひと針縫い進め、創りだしたチャーミングでアイデアに満ちたパッチワーク・キルト作品と、娘・実花による写真作品が融合した華やかな蜷川ワールドをご堪能ください。



蜷川実花 mika ninagawa

フォトグラファー。木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。国内外を問わずファッション、広告、映像などジャンルをクロスオーバーする活動で注目を集め続ける。映画「さくらん」監督。個展「蜷川実花 一地上の花、天上の色」は東京、岩手、鹿児島、兵庫、高知の美術館を巡回。東京のオペラシティアートギャラリー、鹿児島の霧島アートの森では最多動員記録を更新し、合計約18万人を動員した。2010年Rizzoli N.Y.から写真集「MIKA NINAGAWA」を出版、欧米を中心に世界各国で話題となっている。 <http://ninamika.com>

蜷川宏子 hiroko ninagawa

パッチワーク・キルト作家。女優、真山知子として俳優の養成所、劇団青俳、現代人劇場に所属し、舞台、映画、テレビで活躍。次女出産後、女優の仕事を手を控えて家事、育児に専念。かねてからの念願であったパッチワーク・キルトを基礎から学ぶべく蟹沢玲子氏に師事。手芸の域を超えた、既成概念にとらわれない自由な発想から生まれる作品には定評がある。夫は、舞台芸術家・蜷川幸雄氏。現在、NHK出版「すてきにハンドメイド」にて「蜷川宏子のマンスリーキルト」を連載中。

蜷川実花・蜷川宏子 二人展 ～写真とパッチワーク・キルト、母と娘のコラボレーション

2011年8月6日(土)～8月21日(日)

入場料(税込)◎ 一般	800円 (前売 600円、団体 500円)
大学・高校生	600円 (前売 400円、団体 300円)
中学生以下	500円 (前売 300円、団体 200円)

※()内は前売および15名以上の団体料金 ※未就学児童は無料

チケット発売所◎しいのき迎賓館、ケイ・シー・エス、北國新聞読者サービスセンター、香林坊大和、チケットぴあ(サークルK、サンクス/Pコード987-356)、ローソンチケット(ローソン/Lコード54869)

交通案内◎【路線バス】JR金沢駅バスターミナル東口7～10番、西口4番乗り場から乗車、(所要約10分)「香林坊(アトリオ前)」下車、徒歩約5分 【タクシー】JR金沢駅東口タクシー乗り場から約10分

石川県政記念
しいのき迎賓館
Shiinoki Cultural Complex, Ishikawa Prefecture
〒920-0962 石川県金沢市広坂2丁目1-1
<http://www.shiinoki-geihinkan.jp/>

